



竹内 るりな

Takeuchi Rurina

税務職員 平成31年採用

豊能税務署 徴収部門

正直者には尊敬の的  
悪徳者には畏怖の的



Question

1

**現在の仕事内容**について教えてください。

徴収部門では、国の租税収入を確保するため、期限までに国税の納付がない場合の納付相談や滞納処分を行っています。

納付相談では、個々の事情や立場を理解することが大切ですので、納税者の方の申出に耳を傾けた上で、早期に滞納を解消するための計画を一緒に考えています。

一方で、納税に対する誠実な意思が認められない場合には、国税徴収法や関係法令に基づいて捜索や財産差押え等の強制的な滞納処分を行います。

国税庁の使命である適正かつ公平な徴収を実現するために「正直者には尊敬の的、悪徳者には畏怖の的」となるよう業務に取り組んでいます。



Question

2

**仕事をする上で常に心掛けていること**を教えてください。

私は、仕事をする上で、根拠を明確にして処理を進めるよう常に心掛けています。

国の財源確保という極めて重要な役割を担っていますので、私たち徴収職員には、自ら滞納処分を行うことができる強い権限が与えられています。

滞納者の方の財産を強制的に処分する立場であるため、あいまいな処理は許されず、法令等で定められた明確な根拠に基づき処理をしなければなりません。そのためには、職場での研修や自己研さんにより正しい知識を身に付け、自身が行う処理について根拠を持つことが大切だと考えています。



Question

3

**税務の職場の魅力**について教えてください。

税務の職場は、税法のほか、民法や商取引等の幅広い知識を駆使する場面も多く、高い専門性が求められます。私は、採用前まで税に関する知識は乏しく、大きな不安がありました。

しかし、採用後の一年間の普通科研修で、税務の仕事をしていく上で欠かせない知識を身に付けることができ、また、配属後も経験に応じた様々な研修が行われるため、着実に仕事に対する自信がついてきました。

また、疑問点や迷いが生じた場合には、上司や先輩から適切な指導や助言を受ける体制が整っていますので、日々成長を実感できます。



Message

普通科研修で専門的知識だけでなく、仕事をする上での心構えを学ぶことができ、また、一緒にいると心強いかけがえのない同期と出会うことができました。税務署への配属後も、困ったことがあれば手を差し伸べてくださる上司や先輩がおり、安心して仕事ができます。

時には難しい場面に遭遇することもあります。大きなやりがいを感じられ、自分自身が成長できる職場です。

仕事の選択は、人生において重大な分かれ道ですが、皆さん自身が納得できる選択をしていただきたいと思います。その選択肢の中に税務の職場があれば大変嬉しいです。

皆さんと一緒に仕事ができる日が訪れることを楽しみにしています。